国際ロータリー第2690地区（鳥取・島根・岡山）

2011-2012 ガバナー月信

Governor's Monthly Letter

vol.12
2012.6.1

長谷寺絵馬「大名行列図（天和2年）」

CONTENTS

2 ガバナーメッセージ「ロータリー親睦活動月間に寄せて」
3 第1・第2グループIM報告
4 松江東RC創立25周年記念例会
5 津山RC創立55周年記念式典
6 米山記念奨学生オリエンテーション報告
7 2012学年度 米山記念奨学生名簿
2012-2013年度 新地区補助金奨学生
8 RYLA報告
9 2010-2011年度 DDF使用に関する報告
10～13 我がクラブに　この人あり
14～15 地区だより（4月）
16 出席報告（4月）

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2011-2012年度
国際ロータリー会長 カルヤン・バネルジー

国際ロータリー第2690地区（鳥取・島根・岡山）
2011-2012年度 ガバナー 伊 藤 文 利

ガバナーメッセージ

ロータリー親睦活動月間に寄せて

国際ロータリー第2690地区ガバナー
伊 藤 文 利

1：親睦こそ会員増強への道

ガバナー職を振り返ると、ロータリーは親睦に始まり親睦に終わる、そして親睦と奉仕がロータリーライフを支える２本の大きな柱なのだと心底から実感させられた。そしてクラブの成長・発展はそこの会員が親睦にかける情熱の度合いに比例すると断言できるし、その効果は増強数字が正直に物語る。

本年度、当地区で会員増強に大きな成績を挙げられた、備前、岡山、岡山南、鳥取、新見などの各クラブには夫々10名前後の、中にはそれ以上の新会員が入会している。彼らの入会を強く促したものは何かと言えば、そのクラブの持つ親睦の濃さが大きな要因だと推測できる。公式訪問を通じ、地区全67クラブは共通して親睦には夫々に独特の思い入れを感じたが、前述の数クラブは更に強烈で多彩な親睦活動、そして何よりも会長自身の揺るがぬ増強への信念が印象として残る。

その中で、今年、43名から新入会員19名増強し、現在会員数62名の大クラブに発展された備前ＲＣについて、この目覚ましい会員増強の背景を皆さんに是非知って欲しいし、参考にして頂ければ望外な幸せである。会長さんの了承を得たので、ここに敢えて同クラブ親睦活動の実態を紹介してみたい。

年間を通すプログラム予定表を眺めての驚きは計11回の家族例会が計画されている事実である。時には月２回の時もあり、今年はお伊勢参り、高野山詣で、出雲大社参詣などが組まれ、いずれも家族同伴の１泊２日バス旅行。それ以外に県内外の近場に家族同伴のバス旅行も予定されている。ロータリー奉仕の理想を追求する我々にとって不可欠なものは家族の理解を受ける事でありましょう。この点、同ＲＣは理想的な「親睦」を実現されていると確信した。この姿こそロータリーの広報に繋がり、良循環を来し、新入会員増と言う結果になった事は想像に難くはない。今後もこの姿勢を貫かれるよう期待している。

2：ＩＭは親睦と学習を体験する一石二鳥の機会だ

当地区11グループを６に分けて編成したＩＭは１月末から始まり、４月末で全部終了した。主管して頂いた各グループガバナー補佐の皆様に熱烈な感謝を捧げたい。ＩＭ開催に当たり、各ガバナー補佐には参加者が下記の学習と親睦を可能な限り同時体験するプログラムを組んで欲しいとお願いした。

Ａ，ＩＭは近隣都市数クラブ会員が集まり、ロータリー情報を詳しく学び、奉仕の理念を追求する研究・討論の会合で、５大奉仕部門をカバーする内容の研修会である。そしてフォーラムと言うからには討論会であり、白熱した議論が参加者間で飛び交う事を期待していた。

Ｂ，ＩＭのもう一つの大きな目的は自クラブ会員同士の親睦を深める機会でもあるが、更に他クラブ会員との相互親睦をはかり、友人知己を広める場にして欲しい。それにより、外から色々な情報を得て、自クラブの強化や自己研鑽に繋がるものを発見して頂きたい。今、ＲＩは戦略計画の中に会員同士、クラブ間同士、グループ同士のネットワーク形成を促し、それを中心にしながらロータリーの輪を広げるよう奨励しているが、これも親睦そのものだと認識したい。

ロータリーの言う「親睦」とは何か。ゴルフする、飲み会を開く事などは確かに親睦を深める手段であるが、これらは親睦活動であって、真の「親睦」ではない。ではどうすれば真の「親睦」が体験・会得できるか。その答えは毎週の例会、クラブ協議会、フォーラム、ＩＭ、地区大会、国際大会等に出席・参加し、他のロータリアンと混じり、友情を深め、情報交換し、その結果自己改善を図り、奉仕の心を育むという図式こそが理想的「親睦」の姿でありましょう。

「親睦」は「童心」に立ち戻る事だと先輩は説いたが現実は難しい。しかし、我々はその童心を常に求め続けようではないか。

第1･第2グループＩＭ報告

第1・第2グループ　ＩＭ実行委員長
境港ロータリークラブ
北 國 惠 久

講演をしている小泉凡先生

講師の吉田教授

第1・第2グループ合同ＩＭは、酒井英ガバナー補佐の下、境港RCがホストを務め、伊藤文利ガバナーはじめ多くのご来賓をお迎えして、４月22日(日)境港市民会館に於いて開催しました。

「ロータリーは人をつくる」の地区スローガンのもと、これからの人づくりは、グローバルな時代だからこそ日本の歴史と文化をしっかりと身につけていかなければならないという思いを込めて「日本を学び 世界を駆ける」というテーマにしました。

第１部講演では、島根県立大学の小泉凡教授をお迎えして「文化資源として生かす『異界』」～小泉八雲と水木しげるをめぐって～と題して講演をして頂きました。小泉八雲さんや水木しげるさんの話を通じて、この世の中は電気と蒸気と数字の世界だけでない。自然を畏怖し、人間を自然の一部と感じる気持ちが大切。そんな話の中から目に見えないものを「文化資源」とし、社会に還元し、特に観光や地域振興などへ活用することを提案されました。

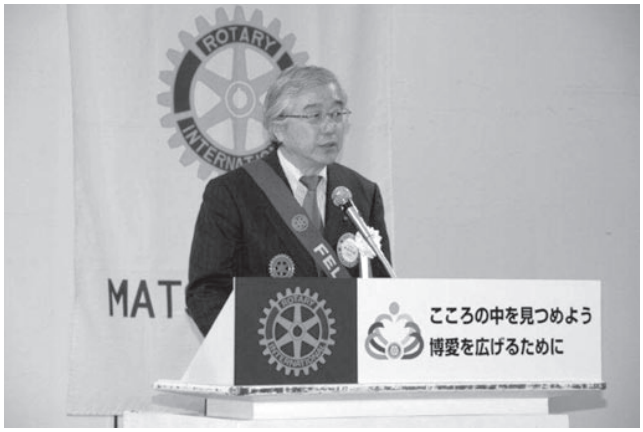
第２部講演では、明治大学の吉田悦志国際日本学部教授をお迎えして、「輝く個性の堆積」～日本海文化と大学史～と題して講演をして頂きました。明治大学は明治14年、岸本辰雄（鳥取藩）八代操（鯖江藩）宮城浩蔵（天童藩）先生によって明治法律学校として創立されました。岸本先生は鳥取県出身です。日本海側の気候風土が明治大学の創立者を育て、その人達が創った教育機関に多くの人達が集い、育ち、羽ばたいていきました。そんな歴史の中から輩出した古賀政男、尾佐竹猛、平出修、子母澤寛、岡本喜八、植村直己等にまつわる話、また高倉健主演の映画「駅」や座頭市の話等、幅広く面白いお話をして頂きました。大衆と共鳴する精神を仕事として具体化してきた先人たち、「孤が個を育て世界に共鳴する」日本文化。真にこれからの時代に忘れかけていたものを教えて頂いたような気がします。

アトラクションも日本文化でと思い、地元 境港大漁太鼓と山下一幸氏による津軽三味線の演奏を企画し楽しんでもらいました。和太鼓も三味線も、日本を代表する音楽文化です。高い技術力と迫力ある演奏は真に日本海文化と相通じるものではないかと思っております。

最後になりましたが、ご来賓をはじめ、各クラブの皆様に心からお礼と感謝を申し上げまして報告とさせていただきます。

松江東RC創立25周年記念例会を終えて

松江東ロータリークラブ 創立25周年記念例会実行委員長
米 田 則 雄



創立25周年実行委員長 米田則雄

25年間皆出席会員表彰

松江東RCは松江南RCをスポンサーとして、1987年に会員48名で創立、5月1日に加盟認証を受けました。創立以来、会員相互の親睦を柱に奉仕を推進し、1995年には新生松江しんじ湖RCのスポンサークラブとなり、今年度をもちまして創立25周年を迎えることとなりました。

去る4月21日（土）には「創立25周年記念例会」を実施いたしました。例会には国際ロータリー第2690地区ガバナー伊藤文利氏をお迎えし、地区パスト・ガバナー、ガバナー補佐他多数の来賓の出席を得、約110名の参加のもとで厳粛にかつ和やかに行うことができました。友好クラブからは遠路33名のご参加、祝って頂きました。

例会は実行委員長の「開会のことば」に始まり、過去5年間の映像スライド、物故会員黙祷の後、松崎滋会長のあいさつがありました。来賓紹介、参加クラブ・ゲスト紹介、出席報告、幹事報告と例会は続きました。その後、来賓祝辞としてまず伊藤文利ガバナーからお祝いのお言葉を頂戴しました。続いて友好クラブの門司RC古家秀樹会長、宝塚武庫川RC丸谷卓生直前会長、そしてスポンサー・クラブ松江南RC高田和宏会長のご祝辞をいただきました。25年間皆出席会員の表彰があり4名のチャーターメンバーが壇上で松崎滋会長から表彰を受けました。

最後に長岡芳博副実行委員長の「閉会のことば」で無事例会が終了いたしました。

例会終了後はにぎやかに祝賀会が開かれ、まず亀尾神能保存会による清め祓いの舞いが厳粛に行われました。松崎滋会長の開宴のあいさつに続き、葛尾信弘パスト・ガバナーの乾杯の音頭で、祝宴に入りました。最初に松江東RC レ・シーニュ＆エレ・コパン（白鳥＆白鳥たち）がコーラス2曲を披露いたしました。この時友好クラブの門司市歌と宝塚市歌は参加クラブの皆様も一緒に壇上で歌い友好を深めました。その後門司RCの香月きょう子さんの日本舞踊 祝い舞「花見船」があり、祝宴に花を添えていただきました。友好クラブの皆様と松江東RCの会員の交流は益々強固なものとなると思います。

祝賀会の間には亀尾神能保存会の神楽「八重垣」が上演され、古事記編纂1300年の年にふさわしいものでした。

懇談は尽きませんでした。最後に全員で「手に手つないで」の大合唱があり、物部宏太郎ガバナー補佐のごあいさつの後、松江東RCの更なる発展を誓い、創立25周年の記念祝賀会を閉じ、すべての記念行事を終了いたしました。

レ・シーニュ＆エレ・コパン

津山RC創立55周年記念式典を終えて

津山ロータリークラブ 創立55周年実行委員長
浮 田 芳 典

式典挨拶の山本俊彦会長

津山RCは昭和31年8月24日、岡山RCをスポンサーとして22名のチャーターメンバーにより発足いたしました。去る4月22日（日）、津山国際ホテルにおいて、津山市長をはじめ、多数のご来賓、ロータリー関係者、台中RC会員及び夫人、当クラブ会員及び夫人、約170名の出席のもと創立55周年記念式典を執り行ないました。山本俊彦会長の「決意を新たに、職業人として地域経済に寄与するとともに、奉仕の理想を追求し、友情の輪を広げ、地域社会に貢献できるよう努力していく所存です」との挨拶に始まり、脇利幸ガバナー補佐、宮地昭範津山市長、陳長榮台中RC会長、岡﨑邦泰岡山RC会長より丁重なる祝辞を頂きました。続いて記念事業の発表が行われ、津山洋学資料館へ瓦斯灯が贈呈されました。これは、津山藩医、宇田川榕庵が「ガス」に「瓦斯」という漢字を当てた事によります。現在、瓦斯灯のやさしい光が洋学資料館の庭をつつんでいます。次いで、30年以上在籍されている会員7名に感謝状を贈呈しました。49年在籍の長谷川三郎会員は91才になられますが元気に出席して頂きました。受賞者を代表して小椋徹範会員が「津山クラブが会員を維持しているのは退会者が少ないからで、それは居心地が良いからです。いつまでも会員であり続けたい」と挨拶されました。次に、姉妹クラブ台中RCとの5年毎の縁組更新締結式を行いました。両クラブの会長、幹事、国際奉仕委員長が署名して、友好の絆を更に深めることを誓いました。厳粛な中にも、和やかな雰囲気のうちに式典は終了しました。

式典終了後、祝宴に移りました。フルート演奏に始まり、アトラクションの少林寺拳法の演舞には、出席者一同くぎ付けとなりました。台中クラブによる高砂族の歌と踊りに会場の雰囲気は最高潮に達し、そのまま「手に手つないで」の大合唱となり、興奮のうちにお開きとなりました。

式典前日には、台中RC36名の訪問団の歓迎会を湯郷グランドホテルで開催しました。オープニングは津山クラブ会員の夫人によるAKBの歌と踊りです。台中クラブも歌と踊りで応えて頂き、大いに盛り上がり交流を深めました。最後は全員で「ふるさと」を合唱しました。台中クラブとの交流は今年で32年になりますが、毎年、青少年の交換を行い、5周年毎にお互いが訪問しています。今後、ますます友好を深めていきたいと思います。

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

2012学年度 米山記念奨学生オリエンテーション報告

米山記念奨学会委員長
髙 木 新 一

4月29日（日）、倉吉シティホテルにおいて、新規米山記念奨学生22名のオリエンテーションを開催しました。伊藤ガバナー、森米山記念奨学会理事、森田ガバナー・エレクト、井戸垣地区代表幹事、井上次期地区代表幹事、内田次期地区副代表幹事をはじめ、米山学友会から陳副会長にご出席頂きました。

今回の主役である奨学生、カウンセラーのご出席は勿論ですが、世話クラブからは昨年に引き続き、新規奨学生と関わりがより深いと思われる「会長エレクト」にご出席をお願いし、出席者は総勢65名となりました。

開会の言葉の後、伊藤ガバナー、陳米山学友会副会長のご挨拶がありました。続いて記念講演がありました。講師には、地元の鳥取短期大学の准教授である池谷千恵先生にお願いしました。先生自身もロータリー財団の奨学生として、カナダに留学経験があり、RCとは縁のある方です。先生は、「文化の違いとコミュニケーション～日本の心をより理解するために～」をテーマに、テレビ番組の映像を使い、奨学生の母国と日本の挨拶言葉・表現方法・謙譲語を比較し、途中で出席者相互のコミュニケーションタイムをとりながら、出席者は互いに文化を語りました。先生はまとめとして、見える文化だけでなく、その背景にある本質的な「異文化・他者理解」を深めて欲しいと述べられました。

内田次期地区副代表幹事の謝辞のあとオリエンテーションに入りました。まず、私が米山記念奨学会の特徴である世話クラブ、カウンセラー制度の説明を行いました。次に奨学生としての心得や規定について説明を行い、ルールに反した場合には資格を失い奨学金が打ち切られることを理解した上で確約書に署名をし、22名は晴れて正式に米山記念奨学生になりました。その後伊藤ガバナーから桜模様の奨学生バッジと4月分の奨学金が渡されました。

懇親会では、森理事の乾杯のご発声の後、クラブごとに、奨学生・カウンセラー・会長エレクトから心温まるスピーチをいただきました。最後に森田ガバナー・エレクトから閉会のご挨拶があり、終始和やかな雰囲気の中、閉会となりました。

これから1年間、奨学生は各世話クラブ、カウンセラーご指導のもと、お世話になります。お互いが素晴らしい出会いに恵まれて、奨学生が大輪の花を咲かせることが出来るよう祈念いたします。

2012学年度　米山記念奨学生名簿

*印は継続奨学生

米山記念奨学生		性別	国籍	大学名	世話クラブ	カウンセラー
MORENO HITA, JAUME XAVIER	モレノ・イタ,ジャウメ・チャビエル	男	スペイン	鳥取短期大学	倉吉東	竹田　秀紀
周　雪　琼	シュウ セッ ケイ	女	中国	鳥取大学	鳥取	甲斐　英則
MOLOMJAMTS, ENKHJARGAL EEGII	モロムジャムツ,エンフジャルガル・エギ	女	モンゴル	鳥取大学	鳥取中央	谷岡　浩
李　亜　利	リアリ	女	中国	鳥取大学	鳥取西	米村　年博
NGUYEN QUYET THI	グェン・ウェット・ティ	女	ベトナム	島根大学	松江東	永瀬　公男
TRINH VAN HOA	チィン・バァン・ホア	男	ベトナム	島根大学	松江しんじ湖	原　稔
KYAW ZAW HEIN	チョウ・ゾウ・ヘイン	男	ミャンマー	島根大学	出雲	遠藤　正博
TSEVEENDORJ, AMARBAYASGALAN	ツェベーンドルジ,アマラバヤサガラン	女	モンゴル	島根大学	出雲	杉浦　弘明
白　惠　源	ハク ケイ ゲン	女	中国	島根県立大学	浜田	茶円　宥勝
金　智　榮	キム ジヨン	女	韓国	吉備国際大学	新見	西村　誠
鄭　英　祚	ジョン ヨン ゾ	女	韓国	岡山県立大学	総社	上野　英子
李　侖　京	イ ユン ギョン	女	韓国	倉敷芸術科学大学	倉敷水島	瀧澤　正
PHAM THANH VAN	ファン・タン・バン	男	ベトナム	津山工業高等専門学校	津山	友末　誠夫
HOANG LOC XUAN	ホアン・ロク・スアン	男	ベトナム	津山工業高等専門学校	津山	大土井亮輔
額尔敦巴雅尔	エルドンバヤル	男	中国	岡山大学	岡山	松島　幸三
夏娃	ナツエ	女	中国	岡山大学	岡山東	木村　旭
RAHMAN, KAZI ANISUR	ラハマン,カジィ・アニスル	男	バングラデシュ	岡山大学	岡山旭川	柳井　基邦
郭　京　菁	カク キョウ セイ	女	中国	岡山商科大学	岡山備南	倉本　琇介
趙　麗　君	チョウ レイ クン	女	中国	岡山大学	岡山城	難波　稔
馬　小　菲	マ ショウ フィ	女	中国	岡山大学	岡山岡南	井上　元
韓　紅　燕	カン コウ エン	女	中国	岡山大学	岡山西	井上　直美
潘　怡　良	ハン イー リョウ	女	中国	岡山大学	岡山西南	浅野　敏美
KHATRI CHHETRI, PRAKASH *	カトリ・チェトリ,プラカシュ	男	ネパール	岡山理科大学	岡山南	田村　陽久
MEY, VANNARY *	メイ,ワンナーリー	女	カンボジア	吉備国際大学	高梁	川崎　正志
阿不来提，阿不力提甫 *	アブライティ アブリティプ	男	中国	鳥取大学	鳥取北	福石　幸市
TSEND-AYUSH, GANDOLGOR *	ツェンデアユーシ,ガンドルゴル	女	モンゴル	島根大学	出雲南	須谷　生男

2012−2013年度 新地区補助金奨学生

地区R財団学友委員長
八 島 弘 明

3月24日（土）アークホテル岡山に於いて選考会を行い、河本愛美さん（倉吉RC推薦）、孝岡睦子さん（岡山北RC推薦）の2名を、2012-2013年度の新地区補助金奨学生に決定いたしました。

本年の募集は1名の予定でしたが、2名とも小論文・語学力・研究内容・プログラムの目的に関する理解度、全てにおいて非常に高いレベルでしたので、予算を見直した結果、2名に奨学金を支給する事になりました。

河本愛美さんの専攻分野は「紛争解決学」で、イギリス・ブラッドフォード大学大学院に留学されます。河本さんは2008年よりNGO「アフリカ平和再建委員会」のボランティアスタッフとして実績を持たれています。

孝岡睦子さんはパブロ・ピカソの研究で、すでに博士号を取得しておられ、専攻分野「美術史学」のより高い研究に従事されます。

両名とも、留学期間中に現地カウンセラーを通じてロータリークラブと交流を深めると共に、財団奨学生として推薦クラブと永く関わりを持ち、世界平和に貢献して頂けるものと確信しています。

河本　愛美さん
（倉吉RC推薦）

孝岡　睦子さん
（岡山北RC推薦）

RYLA報告

新世代奉仕委員長
明 島 淳 吾

RYLA（ロータリー青少年指導者養成プログラム）を、晴天に恵まれた4月14日（土）～15日（日）の両日、三徳山と三朝温泉を会場に開催致しました。

本年度は鳥取・島根・岡山の３県から、14～30歳までの青少年25名と引率教諭1名、ロータリアン25名が集いました。

14日午前、鳥取県三朝町三徳山皆成院で開会式、昼食の精進料理で腹ごしらえをした後、三佛寺の米田良中ご住職による三徳山・国宝投入堂のお話を聞き、片道700mの登山を開始。初対面の男女混成5名のグループ単位で、お互いに助け合いながら険しい修験道に挑みました。想像以上に厳しい自然、登山道に挑む過程で徐々に打ち解けあい、ピンチをチームワークで切り抜け、全員が無事投入堂に到着。断崖に聳え立つお堂の姿に、大きな感動と達成感を得ました。

下山後は境内の国宝・重要文化財を見学した後、宿舎に戻り三朝温泉の湯で疲れを癒しました。

夜は全員でウェルカムパーティを開き、親交を深めました。

翌15日は三朝温泉で座禅を体験するとともに、皆成院の清水成眞ご住職(倉吉RC会員)による「生きている、ただそれだけで素晴らしい」の講演を聞き、精神面での修行も行い、たいへんな感動を受けました。

その後、グループごとに2日間の感想を発表、伊藤文利ガバナーの講評の後、閉会となりました。

最後になりましたが、参加してくださった皆様、付き添いのロータリアンの方々、学校の先生、玉島RCより駆けつけて下さった宮尾俊行ガバナー補佐様、そしてイベント実行のためにご協力、ご尽力下さった全ての皆様に心からお礼申し上げます。

RI第2690地区 2010-2011年度 DDF使用に関する報告

地区ロータリー財団委員長
鳥居　滋

未来の夢計画 地区とロータリー財団の覚書（MOU）に基づき、2010-2011年度のDDF（District Designated Fund：地区財団活動資金）の使用について下記の通りご報告申し上げます。

（ドル）

収　入		金　額
3年前の年次寄付額の50%	①	253,532
3年前の恒久基金収益の50%	②	28,017
前年度からのDDF繰越額等		123,183
合 計	③	404,732

支　出		金　額
新地区補助金（上限額＝140,774ドル（（①+②）×50%）【注1】）		
葛尾G年度選考奨学生への奨学金		17,000
小林G年度CKD関連の奨学金		12,000
各クラブ提唱プロジェクト 33件		77,478
VTT フィラデルフィア研修（CKD）		21,624
補助金管理運営費		497
合 計	④	128,599
グローバル補助金		
ケニア水プロジェクト（№25043）【注2】		20,000
DDF寄贈		
ポリオ・プラス基金への寄贈		90,000
ロータリー平和フェローシップへの寄贈		50,000
合 計	⑤	160,000

2011-2012年度への繰越額（③－（④＋⑤））	116,133

【注１】管理委員会による恒久基金の収益の利用の時期についての見直しがあったため、2010-2011年度地区活動報告書（P.70）に記載の新地区補助金申請上限額 ＝ 134,144ドル とは異なる

【注２】ケニアにおいて安全な飲料水と衛生設備を提供するプロジェクト
＜関係クラブおよび地区＞ ※スポンサー・クラブ
※Nairobi-East RC（RID9200 ／ケニア）、※Santee-Lakeside RC（RID5340 ／アメリカ）、RID2770（埼玉南東）、RID2650（福井・滋賀・京都・奈良）、RID2690（鳥取・島根・岡山）

我がクラブに この人あり

平田RC

杉原　邦彦
（人形販売）

杉原邦彦会員は昭和8年生まれ、数少ない創立会員で杉原人形店を営み、職業分類は人形販売である。由緒ある家庭に育ち柔和な風貌は一挙手一投足に垣間見える。書画骨董に対する真贋を見極める才能は卓越したものでコレクションも多いと聞く。スポーツマンでゴルフの腕前は第4グループでは屈指である。

杉原会員は(1990～1991年度)平田RC 17代会長を歴任され、青少年新春コンサートを提案、当初3年は平田RCが主催したが以後自主性を育む意味で企画運営は若者に一任した。今は我が町平田の新春イベントの幕開けとして継続している。また、平田RC創立10周年の頃はポリオ撲滅キャンペーンが叫ばれ今は亡き一畑薬師管長飯塚幸謙様、郷土洋画家大森栄八郎様が会員で、杉原会員の広い店舗を解放戴き両名の絵画墨跡展を開催、時恰も天神祭り、沢山の来訪者で賑わい、益金の総てをポリオ撲滅基金に寄付した。杉原会員の奉仕精神は枚挙に遑がない。

平田RCにとっては正に生き字引であり燻し銀の輝きをもった春風の温かさのような、老練な相談役でもある。

平田RC　会員　田中久雄

出雲中央RC

古瀬　倶之

我がクラブの古瀬倶之会員の本業は内科医ですが、白衣を脱げば、ある時は伝統ある神社の宮司、ある時は写真家、そしてある時はマスターズ卓球選手と、まさに八面六臂の活躍をしておられます。このように紹介すると、ロータリー活動を疎かにしているのではないかと思われてしまいますが、クラブにおいては第４代会長、地区においては2005～2006年度のガバナー補佐を務められ、常に先頭に立って会員を導く模範的ロータリアンです。

写真の技術はまさにプロ級で、その作品はテレビや新聞などさまざまなメディアで紹介され、島根県総合美術展写真の部審査員として後進の育成にも力を注いでおられます。『ロータリーの友』2012年１月号横組み表紙に掲載された「東京寸景」は、皆さんもご覧になったことと思いますが、以前には英語版『ロータリーの友』の表紙にその力作が採用されたこともあります。

卓球においても、昨年10月の中四国医師卓球大会60歳以上の部で優勝するなど常に努力を続けておられますが、そのすべてに対して前向きな姿勢は、会員すべての鑑となっています。「シカゴでの世界卓球大会に出場すること、ロスで写真の個展を開催すること」という大きな夢に向かって、今後も弛まず精進されることでしょう。

出雲中央RC　会長　朝山　裕

我がクラブに この人 あり

出雲南RC

森山　育子

森山育子副会長　細川三斎を流祖とする三斉流茶道、第20代家元、第３代観翠庵主

入会以来、各委員会の委員長を務め手腕を発揮してきた。出雲南RC茶道同好会「斉雲会」を主宰し会員相互の親睦を図りながら、観月会、新春家族会例会などにお茶席を設け、来賓、会員家族を温かくもてなし和やかな例会にしている。

夫、第２代観翠庵主宗瑞（元出雲RC会員）急逝の後、直ちに宗育家元として後を継ぐや、精力的に諸活動を開始して流派の拡大に努めた。流派が安定するや、将来の流派一層の発展を願い、勇退して女婿の宗浦（出雲RC会員）に引き継いだ。その転身振りは見事であった。今は陰ながら、若い家元の後見役を務め、また、東京、京都、広島の各方面の弟子の指導に当たっている。講演、卓話も多方面で行っていて、関東地方のRCでも卓話をしている。

本年、創立40周年を迎えた伝統ある我がRCは、本年７月に、初の女性会長森山育子を迎えようとしている。

出雲南RC　雑誌委員長　水谷　勲

益田RC

飯塚　道正

飯塚道正氏は（株）ジュンテンドーの取締役会長である。歴史の町を伝え受け継ぐ益田市で昨春、益田RC創立50周年を祝ったのだが、全会員中唯一のチャーターメンバーとして永年に亘る素晴らしい貢献を表彰された。顔写真には氏の歩まれた歴史を垣間見ることができる。氏は穏やかでユーモアのセンスに富み貫禄十分な紳士、永年に亘り当クラブを物心両面で支えてきたことは衆目の一致するところである。尚、活動の写真についてだが後列右端のメガネの若者が往年の飯塚道正氏。この時訪米して第68回国際大会に参加中の若々しいお姿である。実はこの年にRIの中国地区が分かれ当地区の前身、第269地区が誕生し、益田市にも記念すべきことだが、当クラブがスポンサーとして新たに益田西RCが発足。其の認証を受けに渡米した益田RCメンバー一行の写真なのである。

さて、当クラブは会員数は目下23人、増強を図るべく懸命に努めているところである。半世紀前、呱々の声を挙げた伝統ある益田RCであってみれば前進あるのみ。氏に期待するところも又、大である。

益田RC　クラブ広報委員会 委員長　永嶺　正一

我がクラブに この人あり

米子東RC

杉本　真吾

杉本真吾君は、米子東高校野球部3年生（1983年）の夏の甲子園に3番捕手として出場し、慶應義塾大学野球部入部、慶應義塾大学野球部コーチ、助監督を歴任したのち、1997～1998年には母校米子東高校の監督を務めたキャリアの持ち主である。

現在地元米子市内で皆生タクシー社長、皆生温泉芙蓉別館会長などの職の傍ら、1999年より、NHK鳥取放送局にて高校野球の解説を担当。理論的な語り口と軽快な喋りが評判を呼んで人気解説者の仲間入りを果たし、選抜高等学校野球大会のゲスト解説者となる。その後2006年には夏の全国高等学校野球選手権大会の解説者へと昇格を果たした。現在、米子東高校野球部OB会の副会長も務めている。

当クラブにおいても、ロータリー野球に情熱を注ぎ、親睦活動委員会リーダー、SAA（理事）、クラブ広報担当理事などを歴任し、今後は米子東ロータリークラブのみならず、第2690地区においても大いに活躍が期待されるロータリアンの一人である。

米子東RC　会長　尾沢三夫

松江東RC

安部　正之

松江東クラブの21代会長を務めた安部正之会員は、小学校の頃から落語に興味を持ち、大学時代には自分で「近眼亭えん枝」と名乗るほどでした。平成18年には安部整形外科医院院長と言う激務の傍ら、趣味が高じて四代目『春雨や雷蔵』に入門、『春雨や落雷』を襲名し、この平成24年６月には真打ちに昇進となりました。

平成21年に医院を後進に譲ってからは好きな落語と医学知識を活かし、『古典落語』と『いきいき医学講話』の二部構成からなる『お達者落語会』を主宰しています。

この『落語会』は全国におよび、社会福祉事業団や公民館など行政の『健康大会や健康まつり』、町内会・老人会など一般市民への口演を行い、また、笑い療法士として癌患者さんの緩和ケア治療に参加されるなど活躍されています。

昨年の3.11災害に対し、当クラブと『松江春雨や流の会』が主催、松江の他の３クラブが協力の上、『春雨や雷蔵一門』が松江に集結してチャリティー落語会を開催しました。約600名の聴衆を沸かし、大きな義援金を送ることが出来ました。

真打ちとなった後、語りに磨きをかけ、活躍の場が益々広がって行くものと期待されています。

松江東RC　クラブ広報委員長　鐘築一雄

我がクラブに この人 あり

松江南RC

古瀬　　章
（古瀬眼科医院　管理者）

何と言っても我がクラブの最長の皆勤者であります。最近「48年間出席100％表彰」を受けられたばかりである古瀬先生は、この記録を今後も更新をされると思っております。

現在、眼科医院は娘様に譲られておりますが、満88歳の眼科医で今なおカラオケを歌手並みの声で歌われており、公職も数多く務められておられます。松江市医師会会長、島根県医師会会長を歴任され、また、島根県スキー連盟会長を22年間務められました。

古瀬家は代々の眼科医院であり又ロータリー一家でもあります。お父様の古瀬 庸先生は1966年にガバナーを務められました。奥様の秀子様は、松江しんじ湖RCの第3代目会長を務められました。古瀬先生は当クラブ第15代目会長を務められ、11年前に40周年記念実行委員長をなさいました。40周年の記念事業として青少年の健全育成を願い新曲「すてきな松江」の作詞、作曲を企画されて、そのCDを各小、中学校、公民館等に配布し市民の歌として歌われることになりましたが、これも古瀬先生の歌好き、歌上手からなさったことと思っております。歌で親睦会の雰囲気を盛り上げる為に「いつまでも御元気！」を一同願っております。

松江南RC　会長　高田和宏

松浦市長より米寿のお祝いの品を頂く

松江しんじ湖RC

和田　史朗

1994年以来地球環境の保護を訴え続けている、島根県オリジナルのミュージカルがあります。12才で亡くなった坪田愛華さんが描いた漫画「地球の秘密」が原作で、この本は世界12ヶ国語に翻訳され、80ヶ国以上で読まれています。そしてこの漫画を元に作られたミュージカル「あいと地球と競売人」を長年に亘り演出しているのが和田史朗会員です。東京公演、愛知万博はじめ県内外での公演を重ね、現在までに４万人近い観客数を数える程になっています。和田会員は演出家としての立場での講演の中で、「オーディションに合格した子供たちに対しては、厳しいけれど愛情をもって接しています。その中で稽古を繰り返すことによってはじめて、子供たちの輝ける部分を引き出すことができます。これがその子たちの成長に繋がり、また観客の心を打つのでしょう。」と述べておられます。この島根発のミュージカルが今後も多くの人々に共感を呼び、子供たちの健全な育成に繋がることを願って、和田会員の活躍に大いに期待するところです。

松江しんじ湖RC　会長　尾添憲男

こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

[地区だより（2012年4月）]

（敬称略）

新会員ご紹介

土屋毅雄
倉吉中央RC

坪井英明
鳥取RC

城間　徹
鳥取RC

和田義之
米子RC

笠尾幸広
米子東RC

松浦啓介
米子東RC

藤岡成輝
松江南RC

石川茂夫
松江南RC

三上　研
松江南RC

津田一男
松江南RC

川上泰志
出雲南RC

中井康之
出雲南RC

畑岡　匡
浜田RC

山下正一
大田RC

妹尾喜美子
井原RC

直原博光
高梁RC

渡辺清二
倉敷南RC

板野姿子
倉敷瀬戸内RC

有木淳浩
津山西RC

亀川芳紀
備前RC

小縣一隆
岡山RC

吉村武大
岡山RC

土井志郎
岡山後楽園RC

平川清高
岡山南RC

森本良廣
岡山西RC

白髭研介
岡山西RC

清水　学
岡山西RC

嘉村智美
岡山西南RC

ロータリー財団への寄付

ロータリー東日本震災復興基金

鳥居　滋
岡山東RC

メモリアル・コントリビューションへの寄付

藤原健一
児島東RC

金森秀子
倉敷南RC

ポール・ハリス・フェロー

1
駒井重忠
鳥取中央RC

1
高橋雄一郎
松江しんじ湖RC

2
高北敏明
総社吉備路RC

3
藤原健一
児島東RC

1
金森秀子
倉敷南RC

4
梶谷　喬
岡山北西RC

2
木口浩一
岡山旭川RC

米山記念奨学会への寄付

米山功労者

2
魚谷　純
米子中央RC

1
江角彰宣
出雲RC

訃報

謹んで哀悼の意を表し ご冥福をお祈りします

石原恵行 会員
（平田RC）
2012年4月23日ご逝去
（享年75歳）

1974年5月30日入会
三愛石油有限会社 代表取締役
職業分類：精油製品販売
ロータリー歴：37年11ヶ月

立石　勝 会員
（井原RC）
2012年4月20日ご逝去
（享年67歳）

1987年9月9日入会
立石園 代表者　　職業分類：茶販売
2003～2004年度 井原RC会長　その他多数の委員長歴任
2000～2001年度 地区広報委員会委員
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

小林　滋 会員
（岡山南RC）
2012年4月19日ご逝去
（享年92歳）

1956年12月15日入会
特定医療法人 万成病院
役職：理事・名誉院長
職業分類：精神科病院

[地区だより（2012年4月）]

（敬称略）

ロータリー財団への寄付

メモリアル・コントリビューションへの寄付

松江しんじ湖RC…… 安島　壮が、故父　安島　滋のために
児島東RC…… 藤原健一が、故母　藤原利野のために
倉敷南RC…… 金森秀子が、故母　金森松子のために

クラブ特別寄付（年次寄付）

出雲南RC…… 22.00ドル（新入会員寄付）
岡山RC…… 841.46ドル（ミリオンダラーミール）
30.00ドル（新入会員寄付）

年次寄付にご寄付いただいた方々

松江しんじ湖RC…… 又賀敬子、松田哲雄、立脇通也
倉敷南RC…… 渡辺清二
岡山後楽園RC…… 土井志郎
岡山旭川RC…… 江川省吾、藤原健補、原口正行、橋本　勝、生長豊健、入江　修、古村晴司、近藤章浩、國本卓明、源　真典、中田　亨、野崎隆司、大原利憲、大内　茂、坂本眞一、佐藤洋子、妹尾直人、塩出純二、塩谷健吾、飛田晴康、冨岡昌俊、宇佐美英司、若林浩一、柳井基邦、吉田篤司
岡山南RC…… 平川清高
岡山丸の内RC…… 川辺直美、三宅恒弘、宗政省作、小野進吾、大倉宏治、阿部静香、久保　彰、室山英良、高橋慶次郎

米山記念奨学会への寄付

クラブ特別寄付

鳥取RC…… 185,000円（米山ランチ等）
出雲南RC…… 10,000円（新会員寄付）
笠岡RC…… 28,305円（米山ランチ）
倉敷南RC…… 17,220円（米山ランチ）

クラブ普通寄付

米子中央RC…… 68,000円

特別寄付をいただいた方々

米子中央RC…… 福元儀智、都田修史、河上　剛、播間和雄、新井　真、中村暢宏、辻田哲朗、安部喬樹、松澤弘一、国頭芳夫、高塚建二、浅中　誠、越河　允、安本辰雄、田端　修、黒田　博、村岡誠一、橋本晴人、吉田登志子
松江しんじ湖RC…… 秋鹿　誠、上田恭己、古安正好、新宮広海、陶山秀樹、幡　宏明、益田憲治、森脇　宏、溝本浩二

表紙・長谷寺絵馬　大名行列図　天和２（1682）年 縦78.0 cm×横357.0cm

大名行列は、大名が公式に外出するときの行列をいいます。絵の中に、総勢120人もの人物が二段に画き連ねられます。行列の全貌が克明に描かれる、江戸初期の風俗史料として面白いものです。駕籠や道具類に家紋が描きこまれていないので、大名を特定することができないのが残念です。

絵師「時信」のことはよく分かっていませんが、長谷寺に絵馬を３年おきに３枚残しています。以前、紹介した「坂上田村麻呂蝦夷征伐図（1676年）」「酒呑童子征伐図（1679年）」は想像の世界を、「大名行列図（1682年）」は実際の情景を描いて、なかなかの力量です。

出 席 報 告（2012年4月）

グループ	クラブ名	Make-up後出席率(%)	ホームクラブ出席率(%)	例会数	会員数			
					7月1日	4月末	内女性会員	増減
第1グループ	智頭	75.00	69.64	4	11	14	1	3
	倉吉	92.67	82.33	4	55	58	3	3
	倉吉中央	83.33	62.22	4	23	23	2	0
	倉吉東	94.19	60.47	4	44	42	2	-2
	鳥取	100.00	80.43	4	53	58	3	5
	鳥取中央	80.95	79.76	4	41	42	0	1
	鳥取北	85.28	79.19	4	54	54	6	0
	鳥取西	85.45	78.18	4	53	55	0	2
	計(8)	87.11	74.03		334	346	17	12
第2グループ	境港	85.87	60.87	4	42	46	0	4
	米子	79.68	49.80	4	62	65	2	3
	米子中央	89.71	77.94	4	33	34	1	1
	米子東	89.47	69.88	4	77	81	5	4
	米子南	95.83	71.53	3	46	50	1	4
	計(5)	88.11	66.00		260	276	9	16
第3グループ	松江	88.55	71.37	4	68	68	0	0
	松江東	89.52	84.72	4	57	58	0	1
	松江南	93.99	85.41	4	68	64	4	-4
	松江しんじ湖	88.80	71.43	4	63	65	9	2
	隠岐西郷	84.00	67.00	4	26	27	0	1
	計(5)	88.97	75.99		282	282	13	0
第4グループ	平田	93.23	88.72	4	38	36	1	-2
	出雲	78.00	73.00	4	48	50	1	2
	出雲中央	79.08	74.49	4	50	49	3	-1
	出雲南	95.90	83.20	4	59	60	6	1
	大社	80.00	69.29	4	42	43	1	1
	計(5)	85.24	77.74		237	238	12	1
第5グループ	江津	77.68	67.86	4	26	28	0	2
	浜田	92.20	77.21	4	52	58	1	6
	益田	86.96	70.00	4	24	23	2	-1
	益田西	81.15	66.39	4	30	30	1	0
	大田	95.56	92.05	4	26	25	3	-1
	計(5)	86.71	74.70		158	164	7	6
第6グループ	井原	88.83	73.18	4	46	47	4	1
	笠岡	94.80	91.33	4	50	51	0	1
	笠岡東	88.20	75.16	4	42	41	1	-1
	新見	73.91	65.22	3	16	23	1	7
	総社	78.01	66.43	4	37	39	7	2
	総社吉備路	84.06	81.75	4	35	36	3	1
	高梁	85.88	72.57	4	44	45	3	1
	玉島	89.74	80.34	4	30	30	1	0
	計(8)	85.43	75.75		300	312	20	12

グループ	クラブ名	Make-up後出席率(%)	ホームクラブ出席率(%)	例会数	会員数			
					7月1日	4月末	内女性会員	増減
第7グループ	児島	81.97	70.49	4	28	31	0	3
	児島東	97.83	90.22	4	23	23	0	0
	倉敷	98.74	83.19	3	77	82	0	5
	倉敷中央	83.33	79.17	4	18	18	3	0
	倉敷東	96.25	75.95	4	40	40	4	0
	倉敷南	90.26	54.10	3	66	65	5	-1
	倉敷水島	76.19	66.67	4	31	31	0	0
	倉敷瀬戸内	90.54	74.81	4	37	37	3	0
	計(8)	89.39	74.33		320	327	15	7
第8グループ	真庭	88.37	80.62	4	34	33	0	-1
	美作	85.16	84.25	4	35	36	1	1
	津山	79.71	77.43	4	88	89	3	1
	津山中央	81.25	77.08	4	26	26	3	0
	津山西	84.85	80.15	4	34	35	4	1
	計(5)	83.87	79.91		217	219	11	2
第9グループ	赤磐	72.62	59.52	4	20	21	0	1
	備前	70.85	66.67	4	43	62	7	19
	岡山	89.39	68.94	4	105	113	0	8
	岡山東	88.27	79.75	4	85	86	0	1
	岡山北西	92.52	89.73	3	49	52	4	3
	岡山後楽園	88.48	79.26	4	51	55	0	4
	計(6)	83.69	73.98		353	389	11	36
第10グループ	岡山旭川	82.69	71.15	4	25	26	1	1
	岡山中央	85.51	67.94	4	45	45	5	1
	岡山北	80.11	67.05	4	45	45	0	0
	岡山南	80.52	72.79	4	151	161	13	10
	玉野	83.09	72.06	4	32	34	0	2
	牛窓	100.00	95.24	3	7	7	0	0
	計(6)	85.32	74.37		305	318	19	14
第11グループ	岡山備南	81.15	75.00	4	35	36	4	1
	岡山城	91.35	85.58	4	27	27	4	0
	岡山岡南	88.33	81.51	4	30	30	3	0
	岡山丸の内	86.29	72.58	4	32	32	2	0
	岡山西	87.20	75.87	4	73	76	6	3
	岡山西南	81.53	75.80	4	64	57	3	-7
	計(6)	85.98	77.72		261	258	22	-3

地区クラブ内の状況

クラブ数		67RC
7月1日現在会員数		3,027名
4月末日会員数		3,129名
内　女性会員数		156名
純増		103名
4月出席率	Make-up後	86.42%
	ホームクラブ	74.94%

国際ロータリー第2690地区
2011-2012年度
地区スローガン

国際ロータリー第2690地区　2011-2012年度 ガバナー
伊 藤 文 利
〒682-0887 鳥取県倉吉市明治町 1037-11 倉吉商工会議所 3 階
TEL 0858-24-2690 FAX 0858-24-2691
E-mail : ito2690@shirt.ocn.ne.jp